令和８年度　第１回岡山県和牛改良委員会　議事概要

１　日　時　　令和８年７月 10 日（金）14：00～15：30
２　場　所　　全農岡山県本部総合家畜市場会議室（真庭市草加部）
３　出席者　　委員９名、アドバイザー３名、事務局４名（計 16 名）
４　内　容

種雄牛作出状況について

ア　令和８年度種雄牛作出方針について

令和８年度の種雄牛作出方針（案）について提案。

岡山系種雄牛の作出について、岡山固有の雌系からの岡山系種雄牛作出を引続き行う。また、父系における岡山系直系種雄牛の再造成を進める。黒金糸藤の産子である夢糸藤の産子を作り、後代検定を実施せず、ゲノミック評価を用いて世代更新を進める。ゲノミック評価値の高い夢糸藤の後継種雄牛が作出されれば、後代検定を実施し基幹種雄牛として選抜していく方針。

提案どおり承認。

イ　直接検定終了牛などの措置（案）について

直接検定が終了した牛等、２頭の措置について、提案どおり、承認。

①「福花百合」号

措　　置　　去勢後肥育
理　　由　　ゲノミック評価は枝肉重量を除いて高いが、脂肪の質についてはマイナス。発育、体幅、均称に優れるが、肩付、下けんの切れ上がり、被毛の質が惜しまれるため。

②「百合秋藤」号

措　　置　　去勢後肥育
理　　由　　ゲノミック評価は枝肉重量を除いて高いが、脂肪の質についてはマイナス。後躯、体幅、体深に優れるが肩付、肢蹄、体緊りが惜しまれるため。

ウ　後代検定終了予定牛の措置（案）について

「花美津照」号について、選抜案を提示し、提案どおり、承認。

「花美津照」号

措　　置　　選抜
理　　由　　第 63 回育種価の枝肉６形質において、突出した形質はないが、イノシン酸関連遺伝子型（NT5E）が HH でありオレイン酸 A1 ランク、MUFA A3 ランク、あらさ指数上位３％、細かさ指数上位１％とおいしさ関連形質については高レベルでまとまっている。また、生時体重が大きくなく、初産に使いやすい但馬系種雄牛のため選抜する。